

令和3年度第1回大曲地域協議会会議録

令和3年5月20日

大曲地域協議会

令和3年度第1回大曲地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■部長あいさつ	2
■協議	
(1) 会議録署名委員の指名	4
(2) 地域課題協議について	4
■報告	
(1) 令和2年度地域枠予算の活用実績について	17
(2) 令和3年度地域枠予算の活用状況について	17
■その他	17
■閉会	17
■署名	17

■日 時：令和3年5月20日（木）午後6時

■会 場：大仙市役所3階大会議室

■出席委員：11名

鎌 田 俊、熊 谷 公、後 藤 仁美、根 田 朋子、
佐 藤 芳紀、柴 田 裕子、須 田 忠夫、生田目 マキ子、
成 田 麗子、松 塚 孝治、三 浦 隆吾

■欠席委員：3名

佐々木 浩、佐 藤 純也、戸 嶋 真紀子

■出席職員：4名

福 原 勝人（企画部長） 山信田 恭弘（地域活動応援課長）
高 山 知洋（地域活動応援課主幹） 遠 藤 彩 希（地域活動応援課副主幹）
三 浦 雄（地域活動応援課副主幹） 佐 藤 洋 平（地域活動応援課主任）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 部長あいさつ
- 4 議 題
 - (1) 会議録署名委員の指名
 - (2) 地域課題協議について
- 5 説 明
 - (1) 令和2年度地域枠予算の活用実績について
 - (2) 令和3年度地域枠予算の活用状況について
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

(午後 6時 開会)

○事務局(高山主幹)

本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
定刻になりましたので、ただ今から令和3年度第1回大曲地域協議会を始めさせていただきます。

はじめに、熊谷会長よりごあいさつをお願いします。

○熊谷公会長 (以下、会長と表記)

はい。皆さん本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

新型コロナウイルスが流行しだしてしばらく経つんですけれども、なかなか収束することなく、いよいよ身近なところにまできている状況で、日々の自分たちの生活にも大きな影響を及ぼすようになってきました。最近になってやっとワクチン接種もスタートして、これから本当に収束、減少を期待するところではあるんですけれども、皆さん健康管理や感染対策に注意しながら生活を送っていただきたいと思います。

前回の会議におきましては、市長さんに我々の協議内容を見ていただきました。我々の活発な活動を見ていただいて、大変評価が高く、すごく感心していただいたというような話を聞いております。今日の会議におきましても、皆さん活発に意見を出し合いまして円滑な協議をお願いしたいと思います。

それでは本日もよろしくをお願いします。

○事務局(高山主幹)

ありがとうございました。

続きまして、福原企画部長がご挨拶申し上げます。

○福原企画部長 (以下、企画部長と表記)

皆さまお晩でございます。

本日はお忙しいところご出席いただきまして本当にありがとうございます。

まずもって年度が改まりまして、市では組織改編が行われております。

昨年度まで、地域協議会を担当しておりましたまちづくり課が二つに分かれておりまして、地域活動応援課というところとそれから移住定住促進課という二つになっております。

地域協議会の担当は地域活動応援課が行います。その他、地域枠予算ですとか自治会支援、それから地域公共交通などを担当いたします。この後、課員の紹介がありますのでどうかよろしくお願い致します。

また移住定住促進課ではその名の通り移住定住の促進の他、ふるさと納税など担当するこ

とになったということでございます。

そして4月には市長選挙がありまして、ご案内の通り、無投票で老松市長が2期目を迎えております。

また会長のご挨拶にもございましたけれども、新型コロナウイルスにつきましては4月に入りまして大仙保健所管内で感染拡大がありました。現在は秋田市とその周辺を中心として、拡大が続いておりまして非常に厳しい状況が続いております。

そうしたところ市では5月から65歳以上のワクチン接種を開始しておりますけれども、予約受付におきましては電話が非常に繋がりにくいということで大変ご迷惑をおかけ致しました。お詫びを申し上げます。

その後年齢別の予約申込日を設定するとしてほか、コールセンターの回線を増やすなどの対策を講じまして現在は繋がりにくい状況は解消されております。

まだ公表しておりませんが、公表は来週の後半になると思っておりますけれども、6月の下旬からは64歳以下の皆様の予約受付を開始する予定でありまして、電話のほか、ネット予約も導入いたします。順次予約のご案内を差し上げる予定であります。接種開始は今のところ8月からということで予定しておりますので、どうかよろしく願いいたします。

本日は地域課題の協議をお願いするほか、地域枠予算の状況報告もあわせて行わせていただきたいと考えております。引き続き、今年度もご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

本日もどうかよろしく願いいたします。

○事務局(山信田課長)

それでは、職員の紹介をさせていただきます。

【地域活動応援課職員を紹介】

○事務局(高山主幹)

それでは、会議に入ります前に資料の確認をさせていただきます。

【資料の確認】

次第

委員名簿・配席図

資料No.1 令和2年度第4回グループ協議資料

資料No.2 グループ協議シート(A・B) ⇒ 差し替え当日配布

資料No.3 令和2年度地域枠予算活用事業一覧

参考1 大曲地域協議会地域課題審議の流れ(例)

参考2 令和2年度第4回地域協議会会議録抜粋

○事務局(高山主幹)

それでは、このあとの進行については、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、熊谷会長をお願いします。

○会長

ありがとうございます。職員の皆様、今年度もどうかよろしくをお願いします。

それでは、会議の方を始めたいと思います。本日は佐々木浩委員、佐藤純也委員、戸嶋真紀子委員から欠席の届け出がなされておりますので、出席委員は11名となっております。委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

それでは次第の4の会議録署名委員を指名いたします。

会議録署名委員は佐藤芳紀委員と松塚孝治委員にお願いしたいと思います。

続きまして議題の2に移ります。

地域課題協議についてを議題といたします。

前は老松市長にもご出席いただき、現在議論している課題についてご意見を頂戴したところです。地域協議会として議論することがとても重要で、本会の取り組みにとっても感心されていたように記憶しています。

本日も2つのグループに分かれて協議したいと思います。

そしてこれまでの協議内容を最初に報告していただきまして、お互い意見交換を行い、再度グループでの協議を進めていただく予定となっております。

それでは協議に入ってくださいですが、事務局の方から何かありますでしょうか。

○事務局(高山主幹)

【資料に基づき説明】

これまでのグループの議論をグループ協議シートにA・Bにそれぞれまとめて内容を確認した。今日の議論は、取り組み体制について誰が行うか、どこと連携して行うか、どういった団体と協力してやれるのかを話し合う。またさらに期待される効果も可能であれば話し合い、それぞれのグループから発表いただき意見交換するという流れを確認した。

○会長

はい。ありがとうございました。前回までの協議で、こんな取り組みができるので

はないかという話をしていたわけですがけれども、本日はそれについて誰が行うか、どこと連携してやれるのかという具体的な協議をしていきたいと思えます。

各グループの協議に先立ちまして、前回までの内容についてなど、お互いのグループに対して意見交換をしていただきたいと思います。

まず最初にAグループの地域住民の地域活動への参加について、ご意見やご質問とかあればお願いしたいと思います。

特にないので、逆にBグループのはなびアムと周辺の取り組みについて何か、意見や質問等あればお願いしたいと思います。

○後藤仁美委員

すいません。

この2の1の榎田清兵衛の碑っていうのは、私実際に見たことないんですけど、結構大きいんですか。

○会長

ここから見える小学校の敷地内にあります。

○後藤仁美委員

道路から見える石碑ですか。

○会長

そうです。他に何かございますでしょうか。

ないようですのでこれからグループで協議をお願いしたいと思います。事務局の方から物品を配付させていただきます。

前回のご意見なども付箋に記載して模造紙に貼っておりますので、必要に応じて張り直して使ってください。

また、参考1、参考2と記載された資料が配付されておりますけれども、こちらは最終的に協議した結果を実践に結びつけるために必要と思われる内容をまとめたものになります。

全ての協議テーマが当てはまるものではないかもしれませんが協議を行う際の参考としてください。

今回のグループ協議では具体的な対応策について、例えば準備、実施など、取り組み体制についてや、実施主体など協議会の取り組みとして今後どう働きかけるか、実現可能かなど、実戦に向けて一步踏み込んだところでの協議をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

今回も、グループ内で進行役と報告していただく方を決めてから、協議に入ってください。

時間の方は30分ほどを取りたいと思いますのでちょうど7時ちょうどぐらいまでの協議をお願いしたいと思います。

それでは、よろしくお願いします。

【グループ協議】

○会長

はい皆さん、そろそろお時間となってきましたがまとめられそうでしょうか。

もう10分延長しますのでそれでまとめてください。

○会長

そろそろお時間となりましたけれど、もう皆様よろしいでしょうか。

決まったところまででも大丈夫ですので、各グループから報告をお願いしたいと思います。

まずはAグループの方からお願いします。

○佐藤芳紀委員

Aグループ佐藤です。よろしくお願いします。今日話し合った結果、まず特に資料の2を見てもらって、3番の3の「会の交流」、これにちょっと注目して、これにちょっと焦点をあてていきたいなと思いました。地区コミュニティの交流ということで、これをやっていきたいなと思っているんですが、まずコロナワクチン接種が進まないとなんにもできないなと思っています。

これで一番には、取り組み体制なんですけど、こういったコミュニティ会議がもちろん先になってやると思うんですけども、委員には保育園や学校のPTA会長、保護者会長、あと町内会長など先になっている人が入っていると思うんですけども、それだけでなく誰でもいいので各地域住民が参加する交流会をやっていけたらと思って先ほ

ど話していました。資料の3にもありますけども、各地域年間で四ツ屋もありますが、いろいろ行事があると思いますので、歴史とかいろいろ各地域違うとは思いますが、こういうことをやる事によって自分たちの地域に足りない部分とか、どういったことが必要か、ないとは思いますが無駄なことがもしかすればあったとか、そういうのが期待されるのかなと思っております。

はい、終わります。

○会長

はい、ありがとうございました。

それでは今の発表に関しまして、Bグループの方からご意見ご質問をお願いしたいと思いますが、どなたかありますでしょうか。

鎌田委員何かありますでしょうか。

○鎌田俊委員

特にありません。

○会長

須田委員はどうですか。

○須田忠夫委員

特にありません。

○会長

後藤委員は何かないですか。

○後藤仁美委員

大丈夫です。

○事務局

交流会ってどういった交流をするとかって話は何か出たものでしょうか。

○佐藤芳紀委員

意見交換、そこからなかなか話が進まず、何か提案などありますか。

○事務局

前回の話の時に、同じ世代の飲み会とかっていう話があり、そこからいろいろ広がっていったという話があったので、あったのかと思ってでした。

○佐藤芳紀委員

それはもうある前提でした。

○松塚孝治委員

コミュニティ会議には小中学校が入っているようですが、そこでは繋がってると思うんですけど、全部での繋がりってことを考えていますか。

○佐藤芳紀委員

話した結果、それぞれの長の人たちがメインになってコミュニティ会議の委員になっていて、そういった人たちを主として交流会を他の地域でやるんですけども、ただ、コミュニティですので、そういった長でなくても参加したいという人は交流会に参加していただけたらなど。

○松塚孝治委員

はい、分かりました。

○会長

他の皆様、よろしいですか。三浦委員は何かありますか。

○三浦隆吾委員

ご指名ありがとうございます。そのトピックスとしていろいろ学校とか保育園とか老人クラブの長の人たちが参加するコミュニティ会議にフリー参加としていろんな人を集めていきたいということなんですが、結果的にそこに今人が来ないとか、集まらないというのが、多分問題点だと思われるので、いわゆるそういう人たちをどうしたらここに来るかみたいなの。きっかけ作りなのか仕組み作りなのか。何かそういうルール作りなのかというのが具体的にあった方が、今後この話を深めていくときに、そのトピックスはもう多分もうOKなんですけど、その次の段階のどうやって集めるのかっていうやり方とか、はい、その辺を知りたいです。

○佐藤芳紀委員

その通りです。自分個人の意見なんですけども、まず四ツ屋で人を集めるときは、ちょっと飲まねっすかっつと、他の地域の人と一緒にちょっと飲まねっすかという誘いからいつも始めるんですけども。何か他に誘い方がありますか。逆に聞きたいです。

○三浦隆吾委員

僕はお酒飲まない人なんですけど。例えば、飲もうよってなったら、お酒好きな人は来るんでしょうけど。結構今って、例えば若手の中でもあまりお酒飲まないとか、そういう飲み会に対して社会全体的にもあんまりこう、積極的じゃないっていう人たちもいらっしゃるから、何か飲み会プラスそれ以外そうじゃない何か方法とか、あの難しい課題だと思うんですが。なんかそれがあつたらいいなと思いますし、そういう意味で四ツ屋地域ってすごくそういう何か縦の繋がりも横の繋がりもすごく四ツ屋まつりっていう一つのお祭りを通してコミュニティがとてもいい環境にあるようなイメージではあるので、何かそこから吸い上げられるヒントというか、やり方っていうのを教えていただけたらと思います。

○佐藤芳紀委員

そういう誘い方しかしていないんで。お酒を飲まない人もまず来るんですよ。

○三浦隆吾委員

ということは、お酒じゃない何かいいことがあるんですよねきっと。

○後藤仁美委員

私、四ツ屋住民になって3年目ぐらいなんですけど、傍から見た四ツ屋の人たちの繋がり？なんでそこへ私たちが集まるのかっていう客観的に見たときに小さい頃から四ツ屋に住んでる人たちが今も仲がいいんです。だから飲まなくても飲んでもそこに仲が良いメンバーがいるって言えば、集まってくる気がする。なので例えば各地域の元々いる地元住民で小さい頃からの幼なじみって多分何人か残ってると思うんですけど、その人たち同士がまず団結力を深めるとか、日頃から多分飲みに行ってる人たちから派生してっていうか、その人たちが中心になって、人を集めるような工夫ができれば、何かいい流れに行くんじゃないかなって思いました。

○佐藤芳紀委員

いやありがとうございます。助けられました。

非常に助けられました。

やっぱり住んでいればなかなか分からないんですよ。なんかそう言ってもらって初めて、なるほどなって今日分かりました。

いろいろありがとうございます。勉強になりました。

○会長

ありがとうございます。

はい、三浦さんもよろしいですか。

○三浦隆吾委員

大丈夫です。

○会長

はい、せっかくなんで根田さんからお願いします。

○根田朋子委員

でもまさに私も四ツ屋まつりの司会を何年かやらせていただいています、すごくアットホームなんだけどでも勢いがあるというのはすごく感じていたので、四ツ屋が

やっぱりそういうモデルケースでもあり、他の地域の皆さんが参考にするとところがきつとあると思います。その横の繋がりというか、各地域の同世代の方の集まりがあればそこでそのモデルケースから学べるところが出てくるんじゃないかなと思います。なので四ツ屋だけじゃなくて、その他の地域もきつと繋がり、盛り上がりが出てくるんじゃないかなというのとはとても感じます。以上です。

○会長

はい、ありがとうございます。他にAグループの発表について何かある方は。ないようですので、Aグループの報告はこれで終了したいと思います。Aグループありがとうございました。

続きましてBグループの方の発表をお願いいたします。

○根田朋子委員

よろしく申し上げます。

Bグループは、はなび・アムと周辺の取り組みということで私根田から発表させていただきます。私たちのグループではこの協議シート3の対応策をまず書き出してそれぞれの取り組み体制だったり、その後期待される効果を皆で考えていきました。一つずつご紹介させていただきます。

まず1-1の利用者アンケートですね。はなび・アムを起点として周辺の商店に人が立ち寄り、賑わいの創出をするための取り組みとして、利用者アンケートをやったらいいのではないかという話が出たんですが、まずはこのアンケート用紙を作るところから始めなければいけないということで、地元の新聞社というか印刷会社さんにアンケートをお願いしようかという話も出ましたが、でもやっぱり地域協議会でアンケートを作成したらいいんじゃないかという意見が出ました。この作ったアンケートをはなび・アムに置いたり、あとは地域の商店で、人が集まったときにそれを配って協力していただく体制をとっていけばいいんじゃないかという話が出ました。

それによってどんな効果が得られるかという、アンケートによってどんな人がどんな世代が来ているのかが分かってくる。そして活性化のヒントが出てくるのではないかという話に結び付けました。

続いてなんです、同じくその賑わいの創出の件で花火玉カーリングをやったらいいのではないかという話なんですけれども、この花火玉カーリングはそもそもヒカリオまるしえというイベントの中で行ったものでして、ヒカリオまるしえのご担当をいらっしゃった三浦さんや藤井さんをお願いしてもいいんじゃないかという話が出ました。

はなび・アムに常設ができれば一番いいんですけども、その常設が難しいようであれば日にちを決めてそのイベントを開催するという感じがいいのではないかという話が出ました。そういう場合はY o u T u b e で動画配信をして周知いただいたりとか私も所属しておりますFMはなびで告知をするというのも一つなんじゃないかという話が出ました。

そしてY o u T u b e は大仙市のSNSだったり、ホームページに載せていただくことで市と協力してやっているよというところに結びつくのじゃないかという話です。それによってどんな効果が得られるかという、やはりあのはなび・アムの利用者、来場者が増えるのではないかと。

そして親子の遊び場が増える、これは私も子供がいますので、子供を遊ばせる場所という点ではすごく納得という意見だったような気がします。

そしてその次ですね、今度は周辺小売店なんですけれども、前回のお話の中で自動販売機でお土産を販売できないかという話になりました。期間限定で、ピアムショップの観光物産協会さんが行っているトレーラーハウスでの物販ですね、そのピアムショップが今年度もスタートしてはいるんですけども、やっぱり常設ではないので、自動販売機を使ってお土産を販売するっていうのがいいんじゃないかって話なんですけど、それをどなたがやったらいいのかというのはやっぱり観光物産協会さんが一番適任なんではないかというご協力いただければなと思います。

そして、そのお店に置く自動販売機をどうやって買うんだという話なんですけれども、やはり補助金を利用して、購入できたらいいんじゃないかという夢だったり、妄想だったりするんですけどそういうのが私たちの意見で出ました。中に入れる商品なんですけど、お土産とかそういうもののコンサルを地域おこし協力隊で今年度新しくいらっしゃった大森さんという方がそういうお土産商品の開発を得意とされていらっしゃるという話を伺ったということで、そういうのもお願いできないかなという話が出ました。

常設することでやっぱり通年でお土産が購入できるようになるのでこれは来場者に満足いただけるという意味ではいいのではないかと。あとは新しいお土産を生むきっかけにもなるので、そこでつくる喜びだったり、話題になるとその盛り上がりにつながっていくのではないかという話になりました。

そして、その次の大曲の偉人2-1ですね、大曲にはたくさんの偉人がいらっしゃいますけれども、歴史を学ぶ材料として例えば榊田清兵衛さんの碑をはなび・アム周辺に移設できないかという話になったんですけども、やっぱりこれってなかなかお金がかかることでもありますし、すぐすぐできることではないというのも私たちも重々承知なので、まずはその偉人を知っていただくという意味も込めて、碑を多くの方々に知ってもらうために、告知だったりプロモーションする。これがちょうど地域の案内人と繋がっていくのかなと思いますので、まずはその今ある場所のクリーンアッ

プをイベント的に行って皆さんに知ってもらい、参加してもらってというのがいいんじゃないか、足を運ぶきっかけ作りになるんじゃないかという話が出ました。「榊田せんべい」とか「もなか源之助」というちょっとひねったような、ひねってないようなそんなお土産も少し前に出てたんですけど、これはやっぱりこの後で出てくるチャレンジショップにおせんべい作る方を募集して、あの繋げられればいいんじゃないかなという話題も出ました。これは本当に市民に人を知ってもらうきっかけ作りになればという意見です。なので先ほどの地域の案内人に繋がるという話をしましたが、この地域の案内人は本当に人を知ってもらうきっかけ作りになるので、そのためには大曲の歴史といういろいろなこととお調べになって研究されてらっしゃる大曲史談会会員の皆様の協力を得てボランティアを募るみたいな感じのもいいんじゃないか。その他商工会議所だったり、あとはその駅からはなび・アムの方までの賑わいを創出したいという部分もあるので、通町や中通町の町内会にご協力をお願いするのがいいんじゃないかという話が出ました。

そして今度は小学校の必修科目として、はなび・アムを活用した方が良いのではないかという話なんですけれども、やはりこれは大仙市教育委員会様にご協力を願った方がいいのではないかという案です。そのためにそれによって生まれる効果は、やっぱり子供たちに大曲のことを知っていただきたいという気持ちが一番です。そのきっかけ作りになるのではないか、そしてはなび・アムを必修科目という形で見に行くことで親と一緒に今度行きたいとか、あのときもうちょっと見たかったななんていう子供たちが増えれば、はなび・アムのリピーターに繋がっていくのではないかというそういう効果を考えました。

お待たせしました最後です。今度チャレンジショップです。このチャレンジショップってというのはやっぱりその駅からはなび・アム表通り、駅から花火通り商店街を渡って、橋を渡って通るルートを盛り上げていった方がいいんじゃないかという話になりました。そこは新しいお店の出店も少なく、昔ながらの店も一生懸命頑張ってる所もありますけど、でもどうしてもシャッターのお店だったり空き店舗もあるのではないかということで、そこを活用して若手起業家を集めたりだとか、あと大仙市の助成金で若手の起業家を集めたりできればいいんじゃないかということもあります。あとはチャレンジショップをやることで、それを周知してもらうために広報やSNSを活用して、どんどん人を募集できればいいんじゃないかという話になりました。やはり、チャレンジショップをやることで若手を育てることに繋がりますし、商店街に大仙市の魅力を新しく盛り込んで若者の流出を食い止めるというのでしょうか。引き止める手助けにしたいという気持ちもあります。

チャレンジショップって言っても、じゃあ何でもいいのか古着屋とか何でもいいのかという話なんですけど、それはそれでいいとは思いますが、ある程度お店のテーマを決めて募集することで協議会の意図に繋がっていくんじゃないかという意見です。

これはさっきの「榊田せんべい」なんですけど煎餅屋さんだとか、あとは大仙市は花火もそうですけど、やっぱりこの大曲のお米もすごくおいしいし、採れるし、そこも魅力として出したいということでお米を中心としたお店、お酒もおいしいですから、お酒や酒屋さんとかっていう話も出ましたということで、長くなりましたけれども、私たちBグループでは、取り組み体制と期待される効果を併せて今ご紹介いたしました。以上です。

○会長

ありがとうございます。

それではただいまのBグループの報告に対して、Aグループの方からご意見ご質問あればお願いしたいと思います。

柴田委員どうですか。

○柴田裕子委員

利用者のアンケートっていいことですが、地域協議会でまずいろんな項目を考えることだとは思いますが、大変難しい設問があるのでそれに、答えてくれるかなっていうのがまず最初に思ったことです。アンケートお願いしますって言ったときに、いやいやと断られそうな気がして。あまり改まった形でやるとこれも大変かなと思うし、そのアンケート結果を回収してなになにという意見がありましたっていうのが、膨大な量になろうかと思ひまして大変な作業になるかなと思ひました。

○根田朋子委員

そうですね。その点に関してはやはりアンケート取りに行くっていうか、私たちが街頭に立って取りに行くとなるとやはり忙しいですという感じで、断る方も多分多くなると思うんですね。私の方でそこは商店街の皆さんにご協力いただくことを考えました。来ていただいているお客様は懇意にしていらっしゃる方なんかもいらっしゃると思うので、そこからもアンケートを取れるのではないかというのは一つです。

その莫大な量が集まればありがたいですね。ただ、来たら来たでまとめたり、それを集計して発表したりするというのはすごく大変な労力になろうかとは思ひんですけれども、でも、量に関わらず意見として集まれば幸いなのではないかと思います。そこに関してはやはり地域協議会のメンバーだけでやれるとは思ひないので市役所の皆さんにご協力を願わなければいけないことだとは思ひんですけれども、そういう気持ちで、アンケートのことは考えました。ということでありがとうございます。

○会長

成田委員。

○成田麗子委員

私たちには考えないような若い人の考えが入っていて嬉しく思ってます。

それでお金もかかることですが、はなび・アムの周辺にあるあの古い建物などあの
一帯を繋げるような、何かこう、私たちもゆっくり見られるようなそういう一帯を作
っていただければなと思いますけども、それは莫大な予算が必要だと思います。でき
ることから、まず少しずつ全体を考えてこの今言った意見をもとに楽しいって言うん
ですか皆さんが集まるような、そういうはなび・アムを作っていってほしいと思いま
す。

ありがとうございました。

○会長

ありがとうございます。はい、生田目委員、いかがでしょうか。

○生田目マキ子委員

駅からまっすぐの通りの賑わいが欲しいって大変いいことだと思います。結構兼松
園さんのところにできたコーヒー屋さんとかは、コロナで県外からの人などを見ると
ちよっとピリッとしますが、結構若い方がいらしてテイクアウトしているし、あと兼
松園さんのところの喫茶店も閉まってしまったので、なんか開催するときはそこを借
りられるということだった。すごく素敵な場所なので何かそういうのを活用して賑わ
いが欲しいなと思ってすごくいいことだと思いました。

○会長

最後に佐藤委員から。

○佐藤芳紀委員

自分も聞いていろいろ何か新しい発見で、花火玉カーリングなんですけども、これ

は遊びだと思うんですけども、これから何か発展とかって何かあるもんなんですか。

○三浦隆吾委員

ありがとうございます。

はい元々は2年前にヒカリオまるしえという夏のイベントの中の一つの賑わいとしてそのときの実行委員会みんなで考えて作った競技とか遊びなんですけれども、本来であればもっとこの2年間の間でたくさんの人に触れていただいてもっと個体数も増やしている色々な地域で大勢が一気にできたりとか、その実行委員の中では世界大会をやろうというぐらいの目標を立てていた部分もあるので大曲といえばやっぱり花火。そして花火玉カーリングがあるみたいなぐらいまでのイメージとしてはあるので、これから世の中でコロナが終息していったときの、もう一つやっぱり賑わいとしては、大きな注目をしてもらえるようなものとして、なので今のうちからいろんなところにちょっとずつ種まきをして、広げていきたいというふうな思いではいます。

○佐藤芳紀委員

あと、「榊田せんべい」や「もなか源之助」がものすごいなと思ひまして。せっかくですので、あの花火なので花火玉弁当とかまで作ってもらえたらすごいありがたいなって思っております。パカッとご飯とか。

○会長

ありがとうございました。Bグループの発表に関しまして他何かご意見等なければ、Bグループの発表を終了したいと思います。

ありがとうございました。

では、今日の全体の協議を通してご意見ご質問などある方がいらっしゃればお願いします。

いないようですので長時間なって申し訳なかったんですけども、本日の協議はここまでにさせていただきたいと思ひます。

次に次第ご報告に移りたいと思ひます。

地域予算の令和2年度の活用実績と令和3年度の活用状況について事務局より説明をお願いいたします。

○事務局(遠藤副主幹)

【資料に基づき説明】

令和2年度の地域枠予算の活用実績と令和3年度の申請状況について概要を報告した。

○会長

はい、ありがとうございました。ただいま事務局から報告ありましたけれども、この件について皆様から何かございますでしょうか。

はい、ないようですので次第5の報告を終了いたします。

本日の議題等については以上です。続きまして次第の6その他に移ります。

皆さんから何かその他ございますでしょうか。では事務局から次回開催について報告をお願いします。

○事務局(高山主幹)

今回の日程は8月18日水曜日午後6時から隣の第一委員会室で行う旨連絡。

○会長

はい、ありがとうございました以上をもちまして本日の地域協議会、全て終了したいと思います。本日は長時間にわたりありがとうございました。お疲れ様でした。

(午後 7時 35分 閉会)

大曲地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
